

令和4年
2月20日執行

長崎県知事選挙選挙公報

長崎県選挙
管理委員会

新しい長崎県を皆さんと一緒に

推薦 自民党

長崎県連 日本維新の会



長崎県知事候補

大石けんご

経歴・プロフィール

39歳
医師

昭和57年に長崎県富江町(現五島市)に生まれ、県立長崎北高を卒業後、世界一流の大学で教育を受けてみたいとの思いから渡米し、カリフォルニア大学デービス校(生化学・分子生物学)を最優秀の成績<Highest Honors>で卒業。

帰国後は、長崎大学熱帯医学研究所(現臨床感染症学)職員を経て、千葉大学医学部医学科卒業、同大学院博士課程を修了して医師、医学博士となる。千葉大学医学部附属病院などで臨床や研究に携わったほか、令和2年からは厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長補佐として厚生労働行政に携わりつつ、新型コロナウイルス対策推進本部医療班を兼務し、コロナ対策の最前線で戦う。

この間、医師としての経験から、公助の必要性を痛感したことにより政治への意欲を高め、アラブ首長国連邦のボランティア経験などを通じて培った国際感覚を活かして、故郷長崎の発展に尽力したいという思いが強まり政治の道を決意。対馬出身の妻と5歳・4歳・3歳の3人の子どもと一緒に長崎に戻る。

長崎北高時代はラグビー部で活躍し、「花園」にも出場した経験があることから、体力には自信がある。

新しい長崎県を皆さんと一緒に進めるための14の主要政策

県民との対話と行動力の発揮	行財政改革
人口減少など本県の重要課題の解決	地場産業の振興
新型コロナ対策の更なる強化	交通ネットワークの整備
子育て支援と教育環境の充実	離島振興
医療福祉介護の充実と人材確保	長崎県版デジタル社会の実現

にぎわいのある長崎県を目指す
防災・減災と国土強靭化への対策
世界に発信する長崎の取り組み
知事退職金の辞退
▶政策の詳細はWEB・SNSで



コロナ対策は
県民を守る
県独自の対策で
大石けんごに
任せよう!

コロナとたたかう医療専門家
女性副知事・民間人材の登用
知事自らが動き判断する県政
知事退職金(約3,144万円)辞退

#世代交代



大石けんご

検索

自民党長崎県連・日本維新の会推薦
大石けんご 39歳

4

地域に誇りを!

- 「DXによる産業のスマート化推進」
- 「専門家の登用によるデジタル政策形成の加速化」
- 「仲間づくりやチャレンジを支援、若者・女性視点等の政策への反映」
- 「起業・創業や新規・復職、学び直しの支援とキャリア形成の促進」
- 「結婚から妊娠・出産、子育てまでの一貫した支援体制の充実」
- 「待機児童ゼロの実現、健康長寿日本一プロジェクトの強化」
- 「多様な人材を受入れ、協働するダイバーシティ社会の構築」
- 「外国人材の受入拡大と多文化共生社会づくりの促進」
- 「多様な人材が活躍できるダイバーシティ経営の推進」
- 「市町と連携したリーダーシップや関係人口拡大対策の強化」
- 「地域や産業を支える人材づくり」
- 「地場や産業を支える人材づくり」
- 「新規コロナ感染症の拡大防止と社会経済活動の継続支援」
- 「医療・検査体制の整備と3回目ワクチン接種の促進」
- 「各産業分野における事業継続と雇用環境の整備推進」



中村こうどう 略歴

- 昭和25年南島原市有家町生まれ
- 長崎大学経済学部卒業後、長崎県庁入庁
- 副知事を経て知事(3期目)

3 産業に活力を!

- 「DXによる産業のスマート化推進」
- 「専門家の登用によるデジタル政策形成の加速化」
- 「仲間づくりやチャレンジを支援、若者・女性視点等の政策への反映」
- 「起業・創業や新規・復職、学び直しの支援とキャリア形成の促進」
- 「結婚から妊娠・出産、子育てまでの一貫した支援体制の充実」
- 「待機児童ゼロの実現、健康長寿日本一プロジェクトの強化」
- 「多様な人材を受入れ、協働するダイバーシティ社会の構築」
- 「外国人材の受入拡大と多文化共生社会づくりの促進」
- 「多様な人材が活躍できるダイバーシティ経営の推進」
- 「市町と連携したリーダーシップや関係人口拡大対策の強化」
- 「地域や産業を支える人材づくり」
- 「地場や産業を支える人材づくり」
- 「新規コロナ感染症の拡大防止と社会経済活動の継続支援」
- 「医療・検査体制の整備と3回目ワクチン接種の促進」
- 「各産業分野における事業継続と雇用環境の整備推進」

2

県民に元気を!

- 「若者や女性、高齢者等、誰もが活躍し、チャレンジできる環境づくり」
- 「仲間づくりやチャレンジを支援、若者・女性視点等の政策への反映」
- 「起業・創業や新規・復職、学び直しの支援とキャリア形成の促進」
- 「結婚から妊娠・出産、子育てまでの一貫した支援体制の充実」
- 「待機児童ゼロの実現、健康長寿日本一プロジェクトの強化」
- 「多様な人材を受入れ、協働するダイバーシティ社会の構築」
- 「外国人材の受入拡大と多文化共生社会づくりの促進」
- 「多様な人材が活躍できるダイバーシティ経営の推進」
- 「市町と連携したリーダーシップや関係人口拡大対策の強化」
- 「地域や産業を支える人材づくり」
- 「地場や産業を支える人材づくり」
- 「新規コロナ感染症の拡大防止と社会経済活動の継続支援」
- 「医療・検査体制の整備と3回目ワクチン接種の促進」
- 「各産業分野における事業継続と雇用環境の整備推進」



中村 こうどう
(71歳)

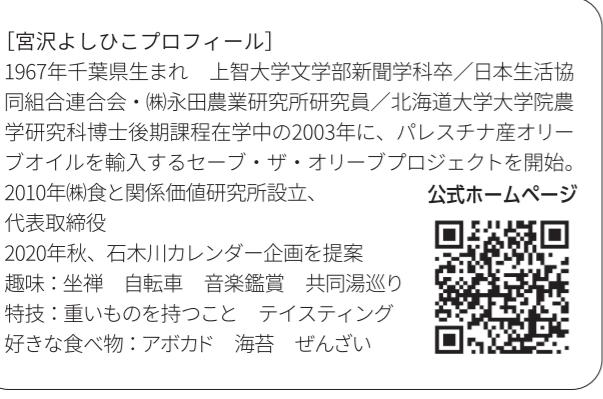
安心と活力、誇りをもてる
長崎県をめざして。
経験を力に 未来を拓く

ワクワク 長崎

“誰一人取り残さない”ワクワクを



宮沢 よしひこ
(無所属)
54歳



「もったいない」で
公共事業の見直しを実現した
嘉田由紀子さんも応援!



石木ダムは538億円(県民一人当たり4万円)もの税金のムダづかい、もったいないダムです。知事が変われば止められます。私は宮沢由彦さんを応援します。彼は誠実で、信念の人です。

緊急政策 コロナ対策に安心を

行き詰っている県政の課題をスッキリ解消
“石木ダム”、“諫早湾開門調査”、“新幹線”、“カジノ”

重点政策 地域社会に安心を / 多様性が尊重される社会へ

/ 未来を担うこどもたちへの大胆な投資を / 第1次産業(農業・漁業・林業)をワクワクするような魅力的な産業へ / 被爆者援護・核兵器廃絶・平和教育の積極的推進を

全国・世界に羽ばたく未来志向の環境共生型の
新産業を育成します
“飛行船”産業”、“歌”の聖地イベント化”

コロナ禍後の長崎はどうなるのか、
その未来には「ワクワク感」が必要です。
こじれた問題を解決せずに、将来は語れません。
そのため、具体的な政策を速やかに実行していきます。
みんなで力を合わせ、
わたしは若い世代が夢を語り、
夢が実現できる未来を目指します。
長崎県の将来を支える若い人たちの未来を
みなさんはどういう想像しますか。
カジノへ変えることに「ワクワク感」はあるでしょうか。
SDGsが叫ばれる時代、環境未来都市ハウステンボスを
茶色く濁つた諫早湾に「ワクワク感」はあるでしょうか。
わたしは、若い世代が夢を語り、
夢が実現できる未来を目指します。
そのため、具体的な政策を速やかに実行していきます。
みんなで力を合わせ、
いつしょにワクワクできる長崎をつくりませんか。

宮沢よしひこ応援の寄付金を受け付けております
郵便振替口座 / 口座番号 01740-0-173389
口座名称 / 宮澤由彦

私達も応援しています(順不同)

赤長崎原爆病院院長 朝長万左男 長崎県民医療機関連合会 平野友久 「よみがえれ!有明海訴訟」を
支援する長崎の会 本田純一 有明海漁師 松永秀則 いしきを学ぶ会 森下浩史 石木川まみり隊 松本美智恵
長崎県民ネットワーク 早稲田矩子 石木川の清流と
ホタルを守る市民の会 戸田清・西中須盈 ノベル平和賞 宮田隆 妙蓮寺住職(宇久島) 佐々木淨榮 多良岳の仙人 田添政繼 参議院議員 永江孝子
大村市議 吉田博・永山真美 島原市議 松坂昌應・本田みえ・楠晋典 五島市議 中西大輔・網本定信 川棚町議 炭谷猛 東彼杵町議 林田二三 長与町議 八木亮三

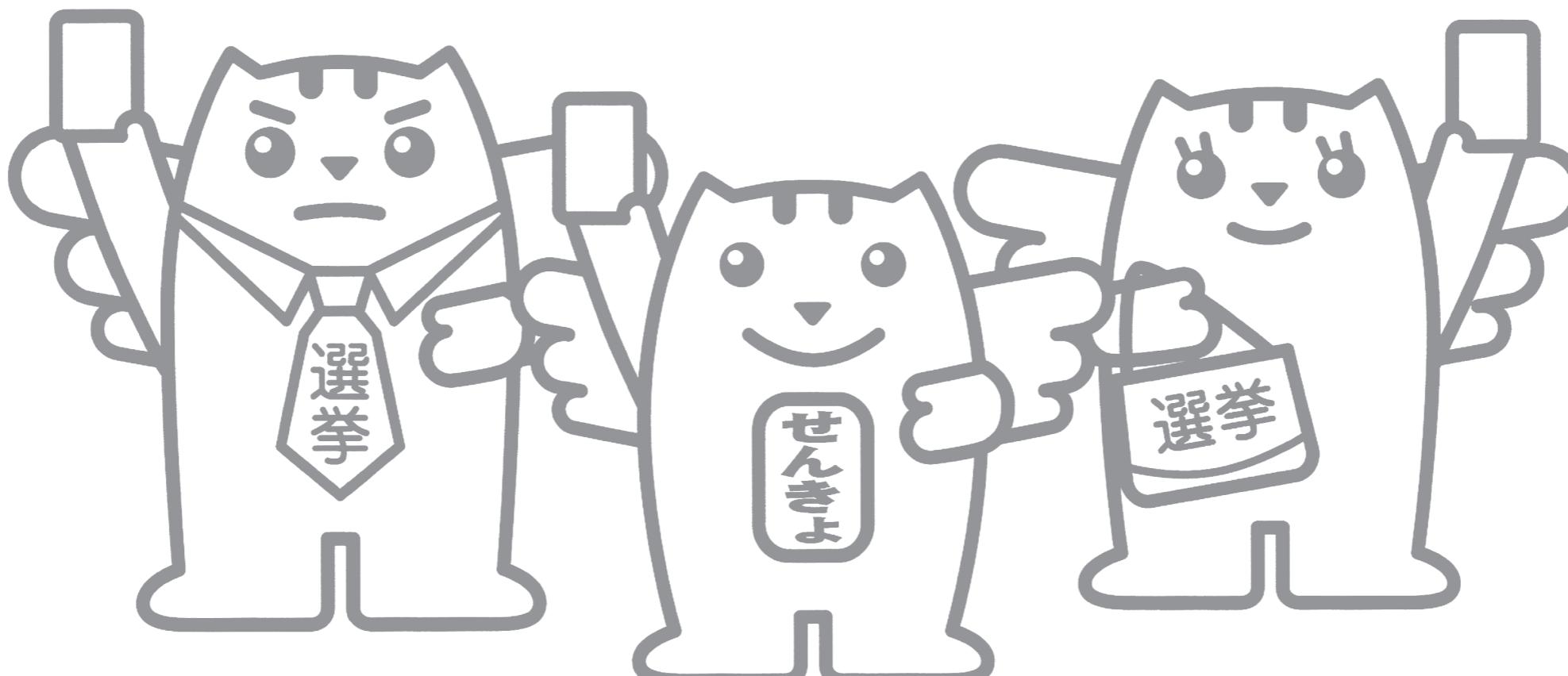
長崎県知事選挙

2月20日(日)

投票日

(繰上投票区の投票日は2月19日(土)です。)

投票からはじめよう!



みんなの意思を県政に反映させる大切な選挙です。
忘れずに投票しましょう。

○投票日に予定がある方は、期日前投票または不在者投票をご利用ください。

○投票所においては、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。

安心して投票にお越しください。

○県知事選挙に関する情報は、県選挙管理委員会のホームページをご覧ください。

